

『中学社会 公民的分野』

学習指導計画作成資料

■公民的分野 目標

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

	(1)	(2)	(3)
目標	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

(中学校学習指導要領 P. 57)

■公民的分野 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

(平成 31 年 3 月 29 日付け 30 文科初第 1845 号「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」の「〔別紙 4〕各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」P. 4 引用)

※公民的分野の学習指導要領の目標をふまえ、観点別学習状況の評価の対象とするものについて整理した表です。

■年間指導計画案

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
1	これからの社会をどんな社会にしたい？ - 国際社会共通の目標、SDGs - (教科書P. 巻頭1 - 巻頭2)	○ SDGsの17の目標と現代社会に関する写真から、持続可能な社会との関係を考えることで、公民の学習に取り組む見通しをもつ。	思考・判断・表現 写真と持続可能な社会との関係について理由づけて考えている。 主体的に学習に取り組む態度 持続可能な社会の考え方が自らの生活と深い関わりをもつことに気づき、以後の公民の学習の見通しをもっている。

第1編 私たちと現代社会

学習指導要領の内容：A

第1章 私たちが生きる現代社会

学習指導要領の内容：A(1)

第1編第1章の目標

- 現代の社会生活などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現代の社会生活などについて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第1編第1章の問い】

私たちが生きる現代社会と文化には、どのような特色があるでしょうか。

第1編第1章の評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解している。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
2	【学習のはじめに】ある日のお買いもの(教科書P. 6-7)	<ul style="list-style-type: none"> ○漫画の中から現代社会の特色に関わる内容を見つけ、現代社会の特色がどのようなものか考察し、表現する。 ○単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代社会をとらえる学習について見通しをもって取り組もうとする。 	思考・判断・表現 漫画の中から現代社会の特色に関わる内容を見つけ、現代社会の特色がどのようなものか考察を行い、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代社会をとらえる学習について見通しをもって取り組もうとしている。

第1節の目標	
<p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第1節の問い】 私たちが生きる現代社会には、どのような特色がみられるでしょうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
3	<p>1 少子高齢化の社会で生きる私たち（教科書 P.8-9）</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢社会とは 少子高齢化で変わる私たちの社会 少子高齢化への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ○平均寿命や出生率等の統計資料をもとに、日本の人口構造の変化と少子高齢化の進展について理解する。 ○少子高齢社会がもたらす課題とその対策について具体例をあげながら考え、説明する。 	<p>知識・技能★</p> <p>統計や各種資料等をもとに少子高齢化が進行していることを読み取っている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>少子化と高齢化が合わさった少子高齢社会の課題とその対策について説明している。</p>
4	<p>2 情報化で変わる社会と私たち（教科書 P.10-11）</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化とは 情報化で変わる社会 情報社会に生きるために 情報化を生かした防災への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報社会の長所と短所について理解する。 ○情報を正しく判断して利用・活用する力や情報を使う考え方の大切さについて気付き、情報への接し方について考え、説明する。 	<p>知識・技能★</p> <p>情報社会になったことで、よくなった点と課題になっている点を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>情報社会において必要な情報リテラシーや情報モラルについて具体例をあげて説明している。</p>
5	<p>3 グローバル化する社会で生きる私たち（教科書 P.12-13）</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化とは たがいに結びつく世界 多文化共生社会と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化の進展により社会がどのように変化してきたのかについて理解する。 ○グローバル化の長所や短所に気付き、なぜ多様性を尊重することが必要なのかについて考えをもち、適切に表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>グローバル化の進展により、どのような変化があり、変化の長所と短所を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>グローバル化がもたらした変化について、身近な製品や事柄と関連づけながら、なぜ多様性を尊重することが必要かについて考えをもち、適切に表現している。</p>

6	4 持続可能な社会と私たち (教科書 P.14-15) ・持続可能な社会とは ・大量生産の社会と豊かになった社会 ・持続可能な社会をつくるために	○世界的な流れから、工業社会に至る流れと課題を知る。 ○なぜ、持続可能な社会をつくることが必要なのかを考察し、適切に表現する。	知識・技能 持続可能な社会が必要である理由と国際的に取り組むべき課題であることを理解している。 思考・判断・表現★ 工業社会がもつ課題や少子高齢化、女性の働きやすさ、情報通信技術の活用の観点から、なぜ持続可能な社会をつくることが必要なのかを考察し、適切に表現している。
-	【明日に向かって】 SDGs から社会の課題を考えよう (教科書 P.16-17)	○持続可能な社会をつくるために国連が定めた2030年までに取り組むべきSDGsが、地球上の課題解決に向けたものであることに気付く。 ○身近な活動がSDGsの目標につながっていることを理解し、自分が取り組んでいること、取り組もうとしたいことを具体的に考え、説明する。	知識・技能 各種資料をもとに、SDGsの目標が様々なところで取り組まれていることを理解している。 思考・判断・表現 これまで学習してきた学習内容から課題のなかで重要と考えるものとその理由を説明している。

第2節 現代社会の文化と私たち

学習指導要領の内容：A（1）

第2節の目標	
<p>○現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統文化の特色と多様性について理解する。</p> <p>○文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○現代社会の文化と私たちについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第2節の問い】 私たちの生活に影響を与えている伝統や文化を、どのように生かしていけばよいでしょうか。</p>	
第2節の 評価 規 準	<p>知識・技能 ・現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統文化の特色と多様性について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・現代社会の文化と私たちについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
7	1 現代社会における文化 (教科書 P.18-19) ・文化とは何だろう ・私たちの生活と科学・芸術・宗教 ・文化の多様性への共感と理解	○文化が私たちの考え方や社会生活にどのような影響を与えているのかについて理解する。 ○現代社会における文化の多様性を尊重することや、多文化共生社会の実現に向けて、様々な事例や課題をふまえて考え、表現する。	知識・技能★ 現代社会における文化の意義や影響について理解している。 思考・判断・表現 位置や空間的な広がり、推移や変化、事象や人々の相互関係などに着目して、文化の多様性を尊重することについて多面的・多角的に考察し、表現している。

8	2 日本の伝統文化の特色と文化の創造（教科書 P. 20-21） ・日本の伝統文化 ・グローバル化と日本の文化 ・私たちと文化の創造	○日本の豊かな伝統文化は豊かな自然や長い歴史のなかで受け継がれてきたことや地域文化の多様性によって支えられていることを理解する。 ○グローバル化が進むなかで、日本の伝統文化の現状と課題をふまえ、どのように文化を継承し創造していくかを考え、表現する。	知識・技能★ 日本の伝統文化の特色や伝統文化が現代社会にも受け継がれていることを理解している。 思考・判断・表現 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
9	【まとめと振り返り】 （教科書 P. 22-23）	○第1編第1章の問いについて、見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現 第1編第1章の問いについて、見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察を行い、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている。

第2章 現代社会の見方・考え方

学習指導要領の内容：A（2）

第1編第2章の目標	
<p>○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解するとともに、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。</p> <p>○社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第1編第2章の問い】 私たちは、現代社会をどのようにとらえていけばよいのでしょうか。</p>	
第1編第2章の評価規準	<p>知識・技能 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
10	【学習のはじめに】 地域の公園づくりに参加しよう（教科書 P. 24-25）	○資料から公園周辺の状況や地域住民の意見などを読み取り、疑問点を整理し課題をまとめる。	思考・判断・表現 資料から公園周辺の状況や地域住民の意見などを読み取り、疑問点を整理し課題をまとめている。

		○単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代社会の見方・考え方の学習について見通しをもって取り組もうとする。	主体的に学習に取り組む態度★ 単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代社会の見方・考え方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
11	1 社会における私たちときまりの意義（教科書P.26-27） ・社会的存在としての人間 ・家族と社会 ・社会生活ときまり	○人間が社会的存在であることやきまりの意義について理解する。 ○社会生活でのきまりの必要性について、様々な社会集団との関係から考え、表現する。	知識・技能★ 人間は社会的存在であり、互いの個性や考え方を尊重し合って生活するためにはきまりが必要であることを理解している。 思考・判断・表現 社会生活においてきまりが必要である理由を考察し、社会集団との関係から表現している。
12	2 「対立」と「合意」 －見方・考え方 その1 －（教科書P.28-29） ・対立と合意とは ・合意する方法	○社会集団では、意見や利害の違いから対立が起こるが、互いの権利や利益が保障されるように合意がなされていることについて理解する。 ○対立を解消し合意するための望ましい方法について、様々な視点から考え、表現する。	知識・技能★ 現代社会の見方・考え方の基礎となる概念的な枠組みとしての対立と合意を理解している。 思考・判断・表現 対立を解消し合意するための望ましい方法について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
13	3 「効率」と「公正」 －見方・考え方 その2 －（教科書P.30-31） ・効率と公正とは ・公正な社会をつくるために	○合意するための判断基準として、無駄を省く「効率」や合意の手続きや内容についての「公正」という考え方があることについて理解する。 ○対立を解消し、合意するための効率と公正の考え方について、様々な視点から考え、表現する。	知識・技能★ 現代社会の見方・考え方の基礎となる概念的な枠組みとしての効率と公正を理解している。 思考・判断・表現 合意がなされるための判断基準としての効率と公正の考え方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
14	4 きまりを守る責任とその評価（教科書P.32-33） ・きまりと責任 ・きまりの評価と変更	○きまりや契約の意義について理解した上で、それらを守ることでそれぞれの権利や利益が保障されていることについて理解する。 ○状況が変わればきまりを見直す必要があることに気づき、きまりの評価や変更について、5つの視点から考え、表現する。	知識・技能 きまりを契約という概念でとらえ直し、きまりや契約を守ることの意義について理解している。 思考・判断・表現★ きまりを評価、変更するときの5つの視点にもとづいて、きまりの評価を行い、権利や利益、問題点などについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
15	【チャレンジ公民】 公園づくりについて話し合おう（教科書P.34-35）	○公園に設置する遊具や器具について、効率と公正の見方・考え方を働かせてまとめる。	知識・技能 公園に関わる意見を整理して、どのような遊具や器具を設置するかまとめている。

		○公園での遊び方について、きまりの評価や視点、効率と公正の観点から自分の意見をまとめ、ボール遊びについて自分の結論を説明する。	思考・判断・表現★ 公園での遊び方について、きまりの評価の視点や、効率と公正の見方・考え方を働かせて考察し、説明している。
16	【まとめとふり返し】 章のまとめをしよう（教科書P. 36-37）	○第1編第2章の問いについて、見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現 第1編第2章の問いについて、見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、表現している 主体的に学習に取り組む態度 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている。

第2編 私たちの生活と政治

学習指導要領の内容：C

第1章 個人の尊重と日本国憲法

学習指導要領の内容：C（1）

第2編第1章の目標	
<p>○人間の尊重についての考え方や法の意義、法に基づく政治及び日本国憲法の基本的原則などについて理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第2編第1章の問い】 私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。</p>	
第2編第1章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。
	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
17	【学習のはじめに】 文化祭の出しものを決めよう！（教科書P. 38-39）	○漫画の中に登場する学級会の良い点や悪い点をあげ、疑問点を整理し、憲法の学習とどう関わるのかを考える。 ○単元を貫く問いを設定する活動を通して、憲法の学習について見通しをもって取り組もうとする。	思考・判断・表現 漫画の中に登場する学級会の良い点や悪い点をあげ、疑問点を整理し、憲法の学習とどう関わるのかを考えている。 主体的に学習に取り組む態度 単元を貫く問いを設定する活動を通して、憲法の学習について見通しをもって取り組もうとしている。

第1節の目標	
<p>○法に基づく政治、日本国憲法の基本的原則及び天皇の地位と国事に関する行為について理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○法に基づく政治と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第1節の問い】 なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立憲主義、個人の尊重及び法の支配などを基に、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。
	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
18	<p>1 私たちにとっての政治と民主主義（教科書P. 40-41）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと政治 ・民主主義とは ・よりよい民主政治のために 	<p>○政治の決定の方法、決定に際して守るべきルールを、民主主義に着目して理解する。</p> <p>○なぜ政治は民主主義によって行われなければならないのかを考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能★ 政治の決定の方法、決定に際して守るべきルールを、民主主義に着目して理解している。</p> <p>思考・判断・表現 みんなのことはみんなできめるために、政治は民主主義によって行っていることを考察し、表現している。</p>
19	<p>2 法に基づく政治と憲法（教科書P. 42-43）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法とは ・個人の尊重と人権の保障 ・法の支配と権力分立 	<p>○立憲主義の憲法について、個人の尊重と法の支配に着目して理解する。</p> <p>○なぜ立憲主義による憲法が必要なのかを考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能★ 立憲主義の憲法について、個人の尊重と法の支配に着目して理解している。</p> <p>思考・判断・表現 なぜ立憲主義による憲法が必要なのかを考察し、表現している。</p>
20	<p>3 日本国憲法の制定と三つの基本原則（教科書P. 44-45）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法 ・日本国憲法の制定 ・世界とつながる三つの基本原則 	<p>○日本国憲法はどのような歴史と特徴をもつ憲法か理解する。</p> <p>○日本国憲法が三つの基本原則をなぜ採用したのか、法の支配に着目して考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能★ 日本国憲法はどのような歴史と特徴をもつ憲法か理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 日本国憲法が三つの基本原則をなぜ採用したのか、法の支配に着目して考察し、表現している。</p>
21	<p>4 日本国憲法と国民主権（教科書P. 46-47）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民主権 	<p>○国民主権とは具体的にどのようなことを意味するのかを理解する。</p>	<p>知識・技能★ 国民主権とは具体的にどのようなことを意味するのかを理解している。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権と政治参加 ・憲法改正 ・象徴としての天皇 	<ul style="list-style-type: none"> ○国民主権について、民主主義と法の支配に着目して考察し、適切に表現する。 	<p>思考・判断・表現★</p> <p>国民主権について、民主主義と法の支配に着目して考察し、適切に表現している。</p>
--	--	--

第2節 日本国憲法と基本的人権

学習指導要領の内容：C（1）

第2節の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解する。 ○日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 <p>【第2節の問い】 人間の尊重とは、どのような考え方なのでしょうか。</p>	
第2節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
22	1 人権思想のあゆみと日本国憲法（教科書P. 48-49） <ul style="list-style-type: none"> ・人権思想の誕生 ・人権思想の発展 ・日本国憲法の人権保障 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的人権の獲得と発展の歴史を理解し、個人の尊重に基づく基本的人権が日本国憲法において保障されていることを理解する。 ○基本的人権とは、人は生まれながらに権利をもつという考え方であり、個人の尊重の原理に基づいていることを考察し、説明する。 	<p>知識・技能★</p> <p>基本的人権の獲得と発展の歴史を理解し、日本国憲法において保障されていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>基本的人権の意味を考察し、個人の尊重と平等権、自由権、社会権、参政権との関係性を考察し、説明している。</p>
23	2 自由に生きる権利（教科書P. 50-51） <ul style="list-style-type: none"> ・自由権とは ・精神の自由 ・生命・身体の自由 ・経済活動の自由 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人として尊重され、個性や才能を発揮していくには、国家からの干渉や妨害を受けない自由権があることを理解する。 ○自分の生活のなかの自由と日本国憲法の条文の結びつきについて考察し、表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>自由権が三つの柱から構成され、それぞれの内容が日本国憲法によって保障されていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>生活のなかの様々な場面での自由と日本国憲法の条文がどのように結びついているかを考察し、表現している。</p>
24	3 等しく生きる権利（教科書P. 52-53） <ul style="list-style-type: none"> ・平等権とは ・部落差別 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的人権を基礎付ける法の下での平等の意義を理解する。 ○現在も存在する部落差別 	<p>知識・技能★</p> <p>平等権とはどのような権利なのかを考察し、現在も存在する差別を通して平等権の意義について理解している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族への差別 ・在日韓国・朝鮮人差別 	<p>や民族差別の問題を解決し、共に生きる社会を実現するための施策について考察し、表現する。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>差別をなくすために大切なことは何なのかを考え、差別を解消するための努力を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
25	<p>4 共生社会をめざして (教科書 P. 54-55)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会をめざして ・性の多様性を認め合う社会 ・障がいのある人とともにつくる社会 ・外国人とともにつくる社会 	<ul style="list-style-type: none"> ○性別、障がい、国籍による差別がどのようなものなのかを考察し、平等権の意義について理解する。 ○共生社会の実現のために、問題点やその解決について多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>知識・技能</p> <p>性別、障がい、国籍による差別がどのようなものなのかを考察し、平等権の意義について理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>共生社会の実現のために、問題点やその解決について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
-	<p>【明日に向かって】</p> <p>まちのバリアフリーを探そう -大阪府堺市-</p> <p>(教科書 P. 56-57)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー施設の機能や目的を理解する。 ○だれもがくらしやすい社会の実現がなぜ大切なのかを考え、説明する。 	<p>知識・技能</p> <p>身近なバリアフリーの施設を探し、その目的や機能を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>だれもがくらしやすい社会の実現について考察し、バリアフリーの大切さを説明している。</p>
26	<p>5 人間らしい生活を営む権利 (教科書 P. 58-59)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会権とは ・生存権 ・教育を受ける権利 ・勤労の権利と労働基本権 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会権が生まれた背景をふまえ、社会権で保障されている内容を理解する。 ○具体的な事例から、人間らしい生活を保障することとはどのようなことかを考え、説明する。 	<p>知識・技能★</p> <p>社会権の各権利についての内容や意義を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>私たちが人間らしい生活ができるように、社会権がどのように私たちの生活を保障しているのかを説明している。</p>
27	<p>6 人権の保障を実現するための権利 (教科書 P. 60-61)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参政権 ・裁判を受ける権利 ・その他の請求権 	<ul style="list-style-type: none"> ○参政権や請求権についてまとめ、その内容や意義を理解する。 ○参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを、民主主義や個人の尊重の観点から考察し、表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>参政権や請求権の内容や意義を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを、民主主義や個人の尊重の観点から考察し、表現している。</p>
28	<p>7 社会の変化と人権保障 -情報化と人権- (教科書 P. 62-63)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人権とは ・知る権利 ・プライバシーの権利 	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ、新しい人権が主張されるようになったのかを理解する。情報化に関わる人権の意義と内容を理解する。 ○情報化に関わる新しい人権について、社会の変化をふまえて考察し、表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>新しい人権の意義や内容を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>なぜ、新しい人権が主張されるようになったのかを、情報化に関わる社会の変化をふまえて考察し、表現している。</p>
-	<p>【情報スキルアップ】</p> <p>「ネット社会」とつき合う方法 (教科書 P. 64-65)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ネット社会」の利便性と危険性について理解する。 ○「ネット社会」を生きるうえで必要な態度や知識について考察し、表現する。 	<p>知識・技能</p> <p>「ネット社会」の利便性と危険性について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「ネット社会」を生きるうえで必要な態度や知識について考察し、表現している。</p>

29	8 社会の変化と人権保障 - 科学技術と人権 - (教科書 P. 66-67) ・環境権 ・自己決定権 ・科学技術の発展と人権 ・AIの発展と人権	○科学技術の発展に関わる新しい人権の意義と内容を理解する。 ○科学技術の発展に関わる新しい人権について、社会の変化をふまえて考察し、表現する。	知識・技能★ 新しい人権の意義や内容を理解している。 思考・判断・表現 なぜ、新しい人権が主張されるようになったのかを、科学技術の発展に関わる社会の変化をふまえて考察し、表現している。
30	9 国際的な人権保障 (教科書 P. 68-69) ・人権保障の国際的な広がり ・グローバル化と人権保障	○国際的な人権保障がどのように展開されたのかを理解する。 ○国際的な人権保障の展開と課題、課題の解決に向けてどのような取り組みがなされてきたか考察し、表現する。	知識・技能★ 国際的な人権保障がどのように展開されたのかを理解している。 思考・判断・表現 国際的な人権保障の展開と課題、課題の解決に向けてどのような取り組みがなされてきたか考察し、表現している。
31	10 公共の福祉と国民の義務 (教科書 P. 70-71) ・人権と公共の福祉 ・国民の義務	○自由や権利の限界、権利と義務の関係を理解する。 ○人権が対立したときにどのように調整すればよいか、対立と合意、個人の尊重の観点から考察し、表現する。	知識・技能★ 自由や権利の限界、権利と義務の関係を理解している。 思考・判断・表現★ 人権が対立したときにどのように調整すればよいか、対立と合意、個人の尊重の観点から考察し、表現している。
-	【明日に向かって】 15歳は「子ども」？それとも「大人」？ (教科書 P. 72-73)	○法律によって未成年者に対する年齢制限があることを理解する。 ○子どもと大人の違いをふまえて、年齢制限の目的を考察し、表現する。	知識・技能 法律によって未成年者に対する年齢制限があることを理解している。 思考・判断・表現 子どもと大人の違いをふまえて、年齢制限の目的を考察し、表現している。

第3節 日本の平和主義

学習指導要領の内容：C（1）

第3節の目標	
<p>○日本国憲法が定めている平和主義について理解を深める。</p> <p>○日本国憲法が定める平和主義について多面的・多角的に考察したり、日本の平和主義のあり方について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第3節の問い】 日本の平和主義は、どのように生かされていくべきでしょうか。</p>	
第3節の評価規準	<p>知識・技能 ・日本国憲法が定めている平和主義について理解を深めている。</p> <p>思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の平和主義のあり方について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
32	1 日本国憲法の平和主義（教科書 P. 74-75） ・日本国憲法の前文と第9条 ・自衛隊と自衛権	○日本国憲法の前文、第9条の内容と、現在の日本の平和主義の考え方を理解する。 ○個人の尊重や法の支配の視点をふまえて、平和主義の意義とあり方について考え、表現する。	知識・技能★ 日本国憲法の前文、第9条の内容と、現在の日本の平和主義の考え方を理解している。 思考・判断・表現 個人の尊重や法の支配の視点をふまえて、平和主義の意義とあり方について考え、表現している。
33	2 日米安全保障条約と日本の国際貢献（教科書 P. 76-77） ・日米安全保障条約と日本の安全保障 ・集団的自衛権と政府の憲法解釈の変更 ・自衛隊の国際貢献	○日米安全保障条約について知り、日本の安全保障体制について理解するとともに、PKOへの参加など、日本の国際貢献について理解する。 ○日米安全保障条約や集団的自衛権に関わる議論をふまえて、日本の安全保障や国際貢献のあり方について考え、表現する。	知識・技能 日米安全保障条約について知り、日本の安全保障体制について理解するとともに、PKOなどの日本の国際貢献について理解している。 思考・判断・表現★ 日米安全保障条約や集団的自衛権に関わる議論をふまえて、日本の安全保障や国際貢献のあり方について考え、表現している。
34	【チャレンジ公民】 道路の拡張計画について考えよう（教科書 P. 78-79）	○公共の福祉は対立を調整する原理であるが、その使用については慎重な対応が求められることを理解する。 ○道路拡張計画に対して、自分の意見を効率と公正、個人の尊重の視点をふまえて考え、記述する。	知識・技能 公共の福祉は対立を調整する原理であるが、その使用については慎重な対応が求められることを理解している。 思考・判断・表現★ 道路拡張計画に対して、自分の意見を効率と公正、個人の尊重の視点とをふまえて考え、記述している。
35	【まとめとふり返し】 章のまとめをしよう（教科書 P. 80-81）	○第2編第1章の問いについて、民主主義、個人の尊重と法の支配などの見方・考え方を働かせながら考察を行い、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、自分の変化や今後にかかしていききたいことをまとめる。	思考・判断・表現 第2編第1章の問いについて、民主主義、個人の尊重と法の支配などの見方・考え方を働かせながら考察を行い、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、自分の変化や今後にかかしていかようとしている。

第2編 私たちの生活と政治
第2章 国民主権と日本の政治

学習指導要領の内容：C
学習指導要領の内容：C（2）

第2編第2章の目標

- 日本の政治のあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方、法に基づく公正な裁判の保障及び地方自治の基本的な考え方について理解する。
- 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第2編第2章の問い】

社会をよりよくしていくために、私たちはどのように政治にかかわっていくべきでしょうか。

第2編第2章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
-------------	---

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
36	【学習のはじめに】 政治ってなんだろう？（教科書 P. 82-83）	<ul style="list-style-type: none"> ○漫画を読み取り、政治や選挙に関する疑問点をあげ、知っていることや知らないことを整理する。 ○単元を貫く問いを設定する活動を通して、政治の学習について見通しをもって取り組もうとする。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>漫画を読み取り、政治や選挙に関する疑問点をあげ、知っていることや知らないことを整理している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>単元を貫く問いを設定する活動を通して、政治の学習について見通しをもって取り組もうとしている。</p>

第1節 民主政治と政治参加

学習指導要領の内容：C（2）

第1節の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○日本の政治のしくみのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、選挙の意義としくみ、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 <p>【第1節の問い】 なぜ選挙や議会を通じて政治が行われるのでしょうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治のしくみのあらましや選挙の意義としくみ、政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
37	1 民主政治のしくみ (教科書 P. 84-85) ・政治のはたらきと権力分立 ・民主主義に基づく政治 ・政治参加のしくみと少数意見の尊重	○民主政治とは国民が主権者となる政治の決定方法であることを理解する。 ○権力分立の意義をふまえ、民主政治の課題について説明する。	知識・技能★ 民主政治の仕組みと意義について理解している。 思考・判断・表現 権力分立の意義と民主政治の課題について説明している。
38	2 選挙の意義としくみ (教科書 P. 86-87) ・民主政治と選挙 ・選挙制度 ・日本の選挙制度の問題点	○民主政治における選挙の原則を理解する。 ○日本の選挙制度の特色と課題について考え、表現する。	知識・技能★ 選挙の4つの原則とその必要性を理解している。 思考・判断・表現 日本の選挙制度の特色と課題について考え、表現している。
39	3 国民と政治をつなぐ政党 (教科書 P. 88-89) ・政党の役割 ・政党政治 ・日本の政党	○政党は国民と議会とを結ぶ役割を果たしており、民主的な国家では政党政治によって国の政治が運営されていることを理解する。 ○諸外国の政党制との比較を通して、日本では連立政権が組織されていることの理由を考察し、説明する。	知識・技能★ 政党の役割と政党政治の必要性について理解している。 思考・判断・表現 連立政権が必要となる理由について考察し、説明している。
40	4 政治参加と世論 (教科書 P. 90-91) ・政治参加 ・世論とマスメディア ・政治とメディア・リテラシー	○国民の政治参加の必要性和方法について理解する。 ○世論形成に与えるメディアの影響をふまえ、メディア・リテラシーの必要性について考察し、説明する。	知識・技能 国民の政治参加の必要性和方法を理解している。 思考・判断・表現 世論形成に与えるメディアの影響をふまえ、メディア・リテラシーの必要性について考察し、説明している。
—	【情報スキルアップ】 新聞の読み方と伝え方を学ぼう (教科書 P. 92-93)	○マスメディアやインターネットの伝える情報は、常に信頼できるものとは限らず、かたよりがある場合があることを理解する。 ○よりよい情報の伝え方や受け方を考えようとする。	知識・技能 マスメディアやインターネットの伝える情報に、かたよりがある可能性を指摘している。 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアの制約や限界をとらえ、よりよい情報の伝え方や受け方について考えようとしている。

第2節 国の政治のしくみ

学習指導要領の内容：C (2)

第2節の目標
<p>○国会を中心とする国の政治のしくみのあらましや議会制民主主義の意義、法に基づく公正な裁判の保障について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>

○国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第2節の問い】

国会、内閣、裁判所はそれぞれどのような役割を担い、どのような関係にあるでしょうか。

第2節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましを理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、議院内閣制や法に基づく公正な裁判の保障などと国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
-----------------	--

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
41	1 国会の地位としくみ (教科書 P. 94-95) ・国会の地位 ・二院制 ・衆議院の優越 ・国会議員の身分保障	○間接民主制の代表的な体制である議会制民主主義及び国会のしくみを民主主義の視点から理解する。 ○二院制や衆議院の優越について、その意義を考察し、表現する。	知識・技能★ 国会は国民の代表者で構成されており、それは国権の最高機関、かつ国の唯一の立法機関であることを理解している。 思考・判断・表現 国会が二院制や衆議院の優越を認めている理由を、効率・公正、民主主義の観点から考察し、表現している。
42	2 国会の仕事 (教科書 P. 96-97) ・国会の仕事 ・国会の種類と運営	○国会の仕事を理解する。 ○なぜ多くの時間をかけて立法するのかを考え、法律の制定過程を説明する。	知識・技能★ 国会の仕事や運営について、その特徴や種類について理解している。 思考・判断・表現 時間と手間をかけて行われる立法の過程について、対立と合意、民主主義の観点からその理由について考察し、説明している。
43	3 内閣のしくみと議院内閣制 (教科書 P. 98-99) ・内閣の仕事 ・内閣のしくみ ・議院内閣制	○内閣の仕事を理解する。 ○議院内閣制について、民主主義に着目しながら国会との関係を考察し、説明する。	知識・技能★ 内閣のしくみや仕事の具体的な内容について理解している。 思考・判断・表現 議院内閣制と大統領制を比較し、議院内閣制の内閣と国会の関係について、民主主義の観点から考察し、説明している。
44	4 行政権の拡大と国民の生活 (教科書 P. 100-101) ・行政の活動と公務員 ・行政権の拡大	○行政権の拡大がどのように国民生活へ影響するかを理解する。 ○国民生活に関連して、規制緩和が広まった理由と	知識・技能 行政権の拡大が国民生活にどのように影響をもたらすか理解している。 思考・判断・表現★ 行政改革が効率・公正の観点から

	・行政改革	その影響を考察し、説明する。	国民生活へ影響を与えることを考察し、説明している。
-	【明日に向かって】 災害に強いくらしをきずく - 東日本大震災における取り組み - (教科書 P. 102-103)	○災害時に必要な自助・共助・公助の意義と内容を理解する。 ○災害に強いくらしを築くためにできることを、個人の課題として関心を持ち、考える。	知識・技能 災害に対する国や地方公共団体、個人の役割や取り組みについて、身近な事例をもとに理解している。 思考・判断・表現 東日本大震災や身近な地域の実例をもとに、災害に強いくらしや地域を形成させるために何が必要かを自らの課題として追究している。
45	5 法を守る裁判所 (教科書 P. 104-105) ・法と裁判 ・司法権と裁判所 ・司法権の独立と公正な裁判 ・違憲審査制	○三審制や司法権の独立、裁判官の独立などのしくみについて、その意義を理解する。 ○公正な裁判のためのしくみやその意義を個人の尊重と法の支配に着目し、説明する。	知識・技能★ 日本の裁判制度が、法の支配や個人の尊重に基づいて成り立っていることを理解している。 思考・判断・表現 公正な裁判が行われるために必要なことを個人の尊重と法の支配などの見方・考え方をふまえて説明している。
46	6 裁判のしくみと人権の尊重 (教科書 P. 106-107) ・民事裁判 ・刑事裁判 ・裁判と人権尊重	○刑事裁判と民事裁判の違いを整理し、それぞれのしくみを理解する。 ○刑事裁判のルール of 意義を考慮することで、裁判と人権の関わりについての考えを深め、説明する。	知識・技能★ 民事裁判と刑事裁判のそれぞれのしくみや違いをふまえ、裁判が個人の尊重を大切にして行われていることを理解している。 思考・判断・表現 裁判における手続きやしくみがどのように個人の人権の尊重につながっているか考えを深め、説明している。
47	7 私たちの司法と裁判員制度 (教科書 P. 108-109) ・私たちに身近な司法 ・裁判員制度 ・刑事裁判手続きの変化	○司法制度改革の目的と内容を理解する。 ○これまでの司法に関する学習をふまえ、裁判員裁判の意義を考え、これから自分が司法にどのようなかかわっていくか考え、表現する。	知識・技能★ 司法制度の課題と司法制度改革について理解している。 思考・判断・表現 司法制度や裁判員制度が私たちの生活にどうして必要なのか考え、表現している。
-	【明日に向かって】 裁判員裁判シミュレーション (教科書 P. 110-111)	○具体的な事例をもとに判決を考えるなかで、裁判の原則や考え方への理解を深める。 ○裁判員裁判のシミュレーションを行うなかで、裁判の原則や考え方をういて自分の考えをまとめて表現する。	知識・技能 裁判の原則や考え方への理解を深めている。 思考・判断・表現 裁判の原則や考え方に注意しながら裁判員裁判のシミュレーションを行い、自分の考えを表現している。

48	8 三権分立と政治参加 (教科書 P. 112-113) ・国民主権と三権分立 ・日本政治の課題 ・地方政治の学習へ	○国会、内閣、裁判所のはたらきが具体的にどのように権力の均衡に役立っているかを理解する。 ○三権に対する国民の主権者としての役割を理解して、政治参加に関わる課題や、どのように政治参画していくかを考え、表現する。	知識・技能 三権分立の目的と内容を理解している。 思考・判断・表現 政治参加に関わる課題や、これから自分が政治にどのように関わっていくかについて考え、表現している。
----	--	--	---

第3節 暮らしを支える地方自治

学習指導要領の内容：C (2)

第3節の目標	
	○地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。 ○よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 【第3節の問い】 地方自治において、私たち住民はどのような役割を果たすべきでしょうか。
第3節の 評価規 準	知識・技能 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解している。 思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
49	1 私たちの暮らしと地方自治 (教科書 P. 114-115) ・私たちの住む地域 ・地方自治とは ・災害と地方自治	○よりよい地方自治を実現するためには、民主主義の考えに基づく地域住民の主体的な参加が必要であることを理解する。 ○地方自治体が地域の実態に応じた取り組みを実施していることを知り、それぞれの取り組みと地域住民の関係について考察し、表現する。	知識・技能 よりよい地方自治を実現するためには、民主主義の考えに基づく地域住民の主体的な参加が必要であることを理解している。 思考・判断・表現 地方自治体が地域の実態に応じた取り組みを実施していることを知り、それぞれの取り組みと地域住民の関係について考察し、表現している。
50	2 地方自治のしくみ (教科書 P. 116-117) ・地方公共団体とは	○地方公共団体の役割や地方自治のしくみについて理解する。	知識・技能★ 地方公共団体の役割や地方自治のしくみについて理解している。

	・首長と地方議会の役割	○首長と地方議会のそれぞれの果たすべき責任について考察し、説明する。	思考・判断・表現 首長と地方議会のそれぞれの果たすべき責任について、具体的な役割や関係に着目して考察し、説明している。
51	3 地方自治の現状と今後の課題（教科書P. 118-119） ・財政のしくみと持続可能性 ・地方分権と市町村合併の帰結 ・人口減少への対応	○地方自治を実質的なものとするために、国が地域による歳入の違いを調整する役割を果たしていることを理解する。 ○人口減少が進む地域における地方自治の課題を、財政面に着目して考察し、説明する。	知識・技能★ 地方自治を実質的なものとするために、国が地域による歳入の違いを調整する役割を果たしていることを理解している。 思考・判断・表現 人口減少が進む地域における財政の課題を、自主財源と依存財源の割合に着目して考察し、説明している。
52	4 地方自治と私たち（教科書P. 120-121） ・住民の政治参加を広げるしくみ ・地域づくりにおける住民の役割 ・NPO やボランティアとの協働	○地域住民が地方自治に参加するための権利と、その権利に基づいて定められている制度を理解する。 ○よりよい地域社会を作るためには、行政だけでない多様な主体の参加が大切なことに気づき、自分ができることについて考え、表現する。	知識・技能★ 地域住民が地方自治に参加するための権利と、その権利に基づいて定められている制度を理解している。 思考・判断・表現 よりよい地域社会を作るためには、行政だけでない多様な主体の参加が大切なことに気づき、自分ができることについて考え、表現している。
—	【明日に向かって】 まちづくりに参加しよう —千葉県船橋市「こども未来会議室」— (教科書P. 122-123)	○地域の生活は政治と密接な関わりをもつことを理解する。 ○身近な地域に関するまちづくりの改善策を考える活動を通して、地域の未来について自分なりの意見を持ち、表現する。	知識・技能 地域の生活は政治と密接な関わりをもつことを理解している。 思考・判断・表現 身近な地域の課題について関心を持ち、地域の未来について自分なりの意見を持ち、表現している。
53	【チャレンジ公民】 自分たちのまちの首長を選ぼう（教科書P. 124-125）	○よりよい地域社会を作るためには適切な政策を選択する能力が必要であると理解する。 ○身近な地域が抱えている課題に対する望ましい政策を多面的・多角的に考察、判断し、適切に表現する。	知識・技能 よりよい地域社会を作るためには適切な政策を選択する能力が必要であると理解している。 思考・判断・表現★ 身近な地域が抱えている課題に対する望ましい政策を多面的・多角的に考察、判断し、適切に表現している。
54	【まとめとふり返し】 章のまとめをしよう（教科書P. 126-127）	○第2編第2章の問いについて、民主主義、個人の尊重と法の支配などの見方・考え方を働かせながら考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や社会生活に生かすことを見出す。	思考・判断・表現 第2編第2章の問いについて、民主主義、個人の尊重と法の支配などの見方・考え方を働かせながら考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、自分の変化や今後生かしていこうとしている。

第3編第1章の目標	
<p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容、社会資本の整備、環境の保全、社会保障の充実・安定化、消費者の保護について理解する。</p> <p>○個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○市場のはたらきと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第3編第1章の問い】 私たちの生活を支える経済活動は、どのようなしくみで成り立っているのでしょうか。</p>	
第3編第1章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などのしくみや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場のはたらきと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
55	<p>【学習のはじめに】 学習のはじめにハンバーガーショップから見る経済のしくみ（教科書P.128-129）</p>	<p>○漫画の中に登場する様々な経済事象について知っていることと知らないことを整理し、わからないことについて疑問をもつ。</p> <p>○単元を貫く問いを設定する活動を通して、経済の学習について見通しをもって取り組もうとする。</p>	<p>知識・技能</p> <p>財やサービスを消費することで生活の豊かさがもたらされ、希少な所得を使って消費が行われることを理解している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>単元を貫く問いを設定する活動を通して、経済の学習について見通しをもって取り組もうとしている。</p>

第1節の目標	
<p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場における価格の決め方や資源の配分を基に市場経済の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○消費生活と経済のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第1節の問い】 市場経済において、消費生活はどのような意味で大切なのでしょうか。</p>	

第1節の評価規準	知識・技能
	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場における価格の決まり方や資源の配分を基に、市場経済の基本的な考え方について理解している。
	思考・判断・表現
	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
56	1 経済のしくみ (教科書 P. 130-131) ・限りない欲求と限りある資源 ・資源と選択の効率性 ・経済の循環	○私たちや社会は様々な選択に迫られているが、限りある資源をむだなく使い、効率的な生産をする選択が求められていることを理解する。 ○経済活動は、家計・企業・政府によって行われ、それぞれに影響を与えていることを考察し、表現する。	知識・技能★ 限られた時間やお金のなかで、すべてを実現したり、買ったりすることは不可能であることを、具体的な選択の場面から理解している。 思考・判断・表現 経済全体の図を見ながら、経済活動は、家計・企業・政府によって行われ、それぞれに影響を与えていることを考察し、表現している。
57	2 経済活動と貨幣の役割 (教科書 P. 132-133) ・分業と交換の大切さ ・お金の役割	○経済活動は分業と交換で成り立ち、それが豊かさにつながっていることを理解する。 ○経済を支える分業と交換が、なぜ私たちの生活に豊かさをもたらすのかを、効率に着目して考察し、説明する。	知識・技能★ 経済活動は、分業と交換で成り立っていて、それが豊かさにつながっていることを、具体的な例から理解している。 思考・判断・表現 なぜ分業と交換が私たちの生活に豊かさをもたらすのかを、効率という視点から考察し、表現している。
58	3 私たちの消費生活 (教科書 P. 134-135) ・くらしと消費 ・家計の収入と支出 ・消費生活とお金	○消費生活は、希少な所得を用いて行われていることを理解する。 ○よりよい消費生活を営むために大切なことを、多面的に考え説明する。	知識・技能 財やサービスを消費することで生活の豊かさがもたらされ、希少な所得を使って消費が行われることを理解している。 思考・判断・表現★ 限りある所得は将来を見据えて、また、支払い方法も考えながら、計画的に消費や貯蓄をすることの意味を、資料を使って説明している。

59	4 消費者の権利と自立を支える政府のはたらき (教科書 P. 136-137) ・消費を支える契約 ・消費者主権と消費者問題 ・政府による消費者保護	○消費は契約に基づいて行われることや、生産者と消費者間に情報格差があることを理解する。 ○政府がなぜ消費者保護政策を行っているのか、公正の観点に着目して考察し、説明する。	知識・技能★ 消費は契約に基づいて行われていることと、生産者と消費者間には情報格差があることを理解している。 思考・判断・表現 政府がなぜ消費者保護政策を行っているのか、公正に着目して考察し、説明している。
-	【明日に向かって】契約について考えよう (教科書 P. 138-139)	○結ばれた契約は基本的には取り消すことができないことや例外的に契約を取り消すことができる場合について理解する。 ○18歳には成人となることを見据え、よりよい消費生活を送るにはどうすればよいか考察し、説明する。	知識・技能 結ばれた契約は基本的には取り消すことができないことや例外的に契約を取り消すことができる場合について理解している。 思考・判断・表現 18歳には成人となることを見据え、よりよい消費生活を送るにはどうすればよいか考察し、説明している。
60	5 ものの流れと情報の流れ (教科書 P. 140-141) ・小売と卸売 ・さまざまな流通のしくみ ・情報化の消費者や企業への影響	○流通の役割を知るとともに、流通のしくみや合理化によって何が効率的になったかを理解する。 ○情報化の進展によりおきた流通のしくみ面での変化を、多角的にとらえ考察し、説明する。	知識・技能 流通の役割を知るとともに、流通の合理化が進んでいることを「効率」の視点から理解している。 思考・判断・表現★ 情報通信技術の発達による変化を多角的にとらえ、よい点と課題を考察し、説明している。
61	6 市場のしくみと価格の決め方 (教科書 P. 142-143) ・価格の役割 ・価格の決め方 ・価格と資源の使われ方	○価格の役割と価格の決め方について理解する。 ○価格の上がり下がりが市場経済においてどのような役割を果たしているのか、人的資源や物的資源の配分に着目して考察し、説明する。	知識・技能★ 価格の役割を理解し、価格の決め方をグラフ等から理解している。 思考・判断・表現 価格の上がり下がりが市場経済においてどのような役割を果たしているのか、人的資源や物的資源の配分に着目して考察し、説明している。

第2節 生産の場としての企業

学習指導要領の内容：B（1）

第2節の目標

- 現代の生産などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。
- 企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。
- 生産の場としての企業について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第2節の問い】

市場経済において、企業にはどのような役割と責任があるのでしょうか。

第2節の評価規準	知識・技能
	・現代の生産などのしくみや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法について理解している。
	思考・判断・表現
	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
62	1 生産活動とそのしくみ（教科書 P. 144-145） ・企業の役割 ・生産に必要なもの ・知的資源と技術革新	○企業が生産するために必要なものを理解する。 ○知的資源を生かした生産活動をする必要性について、現代社会の特色をふまえて考え、説明する。	知識・技能★ 企業の生産活動には知的資源などの生産要素があることと、それぞれの内容についても理解している。 思考・判断・表現 利潤を伸ばすために必要な要素について、現代社会の特色や社会の変容をふまえ、どのようなことが必要か考え、説明している。
63	2 株式会社のしくみと企業の社会的責任（教科書 P. 146-147） ・株式会社のしくみ ・株式市場 ・企業の社会的責任	○株式会社のしくみと活動の目的について理解する。 ○企業の社会的責任について様々な取り組み事例を考察し、その目的や役割について考え、説明する。	知識・技能★ 株式会社のしくみと活動の目的について理解している。 思考・判断・表現 企業の社会的責任について、その目的や役割を考え、説明している。
64	3 企業の競争と独占の問題（教科書 P. 148-149） ・資本主義経済 ・生産の集中と独占 ・公共料金	○自由で公正な企業間の競争が、資本主義経済の健全な発展に必要なことを理解する。 ○生産の集中は企業や消費者にとってどのような問題があるか、効率と公正の観点から考え、表現する。	知識・技能★ 自由で公正な企業間の競争が、資本主義経済の健全な発展に必要なことを理解している。 思考・判断・表現 生産の集中は企業や消費者にとってどのような問題があるか、効率と公正の観点から考え、表現している。
65	4 グローバル化する経済と現代の企業（教科書 P. 150-151） ・グローバル化による企業競争 ・自由貿易を保つために	○グローバル化による企業の変化と課題について理解する。 ○グローバル化によって生じる課題や対立について、お互いの利害関係に着目しながら自分の意見を説明する。	知識・技能 グローバル化による企業の変化と課題について理解している。 思考・判断・表現★ グローバル化によって生じる課題や対立について、お互いの利害関係に着目しながら自分の意見を説明している。
66	5 企業活動と景気の変動（教科書 P. 152-153） ・景気の変動と企業	○景気変動が社会的・経済的にどのような影響を与えるか理解する。	知識・技能★ 景気変動が社会的・経済的にどのような影響を与えるか理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・デフレとインフレ ・経済成長とこれからの日本経済 	<ul style="list-style-type: none"> ○対外関係や国内の課題を見越して、どのような経済成長をすべきか考え、表現する。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>対外関係や国内の課題を見越して、どのような経済成長をすべきか考え、表現している。</p>
67	<p>6 働く意味と労働者を支えるしくみ（教科書P. 154-155）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ働くのか ・労働者と企業の関係 ・労働組合 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働者を保護するための法律の意義と、その具体的な内容について理解する。 ○法により労働者が守られている意義や、どのように働いていくことがより良いことなのかを考察し、表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>法により労働者が守られている意義や、どのように働いていくことがより良いことなのかを考察し、表現している。</p>
68	<p>7 変化する雇用のかたち（教科書P. 156-157）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本的な雇用の変化 ・非正規雇用の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の雇用に見られる変化とその課題について理解する。 ○労働環境の変化に伴って発生している諸課題について、考察し、表現する。 	<p>知識・技能</p> <p>雇用や賃金のあり方を見直す企業が増えてきていることと、それに伴って発生している課題について理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>労働環境の変化に伴って発生している課題について考察し、表現している。</p>
69	<p>8 女性の働く環境と高齢者雇用（教科書P. 158-159）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の働き方 ・高齢者雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ○女性と高齢者の雇用について、その変化と課題を理解する。 ○多面的・多角的な視点から、現代の雇用のあり方について考察し、表現する。 	<p>知識・技能</p> <p>女性と高齢者の雇用について、その変化と課題を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
-	<p>【明日に向かって】</p> <p>職業について調べてみよう（教科書P. 160-161）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○将来、どのような仕事に就きたいか、そのためにはどのような知識が必要なのかを理解する。 ○将来、自分がやりたい仕事について調査し、進路や資格などの諸条件をどのようにクリアしていくか具体的に考え、表現する。 	<p>知識・技能</p> <p>将来、どのような仕事に就きたいか、そのためにはどのような知識が必要なのか、理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>将来、自分がやりたい仕事について調査し、進路や資格などの諸条件をどのようにクリアしていくか具体的に考え、表現している。</p>

第3節 金融のしくみとお金の大切さ

学習指導要領の内容：B（1）

第3節の目標

- 現代の金融などのしくみや働きについて理解する。
- 金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。
- 金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第3節の問い】

金融のしくみは、私たちの生活とどのように関わっているのでしょうか。

第3節の評価規準	知識・技能
	・現代の金融などのしくみや働きについて理解している。
	思考・判断・表現
	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	・金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
70	1 金融のしくみ（教科書 P. 162-163） ・金融とは ・銀行のはたらき ・間接金融と直接金融	○直接金融と間接金融、金融機関の役割を理解する。 ○お金が希少なものであることを身近な事例をもとにとらえ、金融が行われることの意義について考え、表現する。	知識・技能★ 銀行の役割を知ることで、金融機関が経済活動になくはならないものであることを理解している。 思考・判断・表現 お金の希少性をふまえて、金融によって企業や個人が結びつくことで成り立つ経済活動のしくみについて考え、表現している。
71	2 日本銀行と金融政策（教科書 P. 164-165） ・日本銀行のはたらき ・金融政策 ・金融のしくみを安定させるために	○日本銀行の3つの役割について理解する。 ○日本銀行の行う金融政策が、経済状態に応じてどのようなはたらきをし、景気を安定させようとしているのかを考察し、説明する。	知識・技能★ 日本銀行の3つの役割を理解し、一般の銀行との相違を理解している。 思考・判断・表現 教科書の図から、日本銀行の金融政策のしくみを読み取り、経済活動に応じた政策の違いについて考察し、説明している。
72	3 金融のグローバル化と為替相場（教科書 P. 166-167） ・国際取引の増加と外国為替 ・円高と円安 ・為替相場の変化の影響	○円とドルを交換する必要があるについて考え、為替相場のしくみと、為替相場が変動するしくみを理解する。 ○為替相場が変動することで、私たちの生活や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、説明する。	知識・技能 為替相場のしくみを理解し、為替相場から円と外貨とを交換した際の換算をしている。 思考・判断・表現★ 為替相場の変動によって個人や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、円高と円安それぞれのよい面と悪い面について説明している。
73	【まとめとふり返し】 章のまとめをしよう（教科書 P. 168-169）	○第3編第1章の問いについて分業と交換、希少性などの見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見出す。	思考・判断・表現 第3編第1章の問いについて分業と交換、希少性などの見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている。

第3編第2章の目標

- 財政及び租税の意義、国民の納税の義務、社会資本の整備、環境の保全、社会保障、消費者の保護について理解する。
- 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【第3編第2章の問い】

私たちの生活を豊かにするために、国や地方公共団体はどのような役割を果たすべきでしょうか。

第3編第2章の
評価規準

知識・技能

- ・ 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。
- ・ 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。

思考・判断・表現

- ・ 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現している。
- ・ 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・ 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
74	【学習のはじめに】 政府の仕事を見つけてみよう（教科書 P. 170-171）	○政府の仕事に関わる内容を見つける活動を通して、財政について知っていることや知らないことを整理する。 ○単元を貫く問いを設定する活動を通して、財政の学習について見通しをもって取り組もうとする。	思考・判断・表現 イラストを見て、小学校・地理的分野・歴史的分野での学習内容を、政府の役割という視点でとらえなおしている。 主体的に学習に取り組む態度 これからの学習についての見通しをもち、興味をもって学習に取り組もうとしている。
75	1 財政のはたらき（教科書 P. 172-173） ・市場経済と財政 ・社会資本と公共サービス ・所得の再分配 ・財政政策	○資本主義経済における政府の役割を、社会資本と公的サービス・所得の再分配・財政政策の視点から理解する。 ○民間企業が提供しているものでも、政府が公的サービスとして提供する場合があることを、公正の視点から考察し、表現する。	知識・技能★ 政府が果たしている3つの経済的役割について身近にあるものを中心に理解している。 思考・判断・表現 なぜ民間企業だけではなく、政府が社会資本や公的サービスを提供するのかについて、公正の視点から考察し、表現している。

76	<p>2 財政の変化 (教科書 P. 174-175)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政の収入と支出 ・ 社会の変化に伴う社会資本の整備 ・ 環境保全における政府の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財政の収入と支出が変化している要因を社会状況から理解している。 ○ 市場経済のしくみに任せておくと、企業の利潤追求によって様々な環境問題が発生した過去から、政府の役割を考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 歳入と歳出の統計や、歳出と税収の推移のグラフから日本の財政の変化を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 企業の利潤追求によって、高度経済成長期にどのような失敗が起こったのかを振り返り、持続可能な社会形成のために政府がすべきことを考察し、表現している。</p>
77	<p>3 政府の活動を支える税と国債 (教科書 P. 176-177)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公正な税とは ・ 国債の発行と負担 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税の種類や負担の仕組み、国債の意味や仕組みについて理解する。 ○ 公正な税負担の在り方について、立場や考え方を変えながら多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現する。 	<p>知識・技能★ 税の種類や負担の仕組み、国債の意義や在り方について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 税の公正な負担について、政府や所得の差などの立場から多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。</p>
78	<p>4 社会保障のしくみ (教科書 P. 178-179)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生存権と社会保障 ・ 社会保障制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障について、その内容や目的を理解する。 ○ 社会保障制度のメリットを、効率と公正、将来への不確実性など、多面的・多角的な視点から考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 社会保障について、その内容や目的を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 社会保障制度のメリットを、効率と公正、将来への不確実性など、多面的・多角的な視点から考察し、表現している。</p>
79	<p>5 少子高齢社会における福祉の充実と財源 (教科書 P. 180-181)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢社会を支えるもの ・ 福祉の充実をめざして ・ 持続可能な社会保障へ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の社会保障制度には財源の問題があり、給付と負担のバランスを持続可能なものにする必要があることを理解する。 ○ 社会保障制度の抱える問題について、持続可能な制度にしていくための手立てを考える。 	<p>知識・技能★ 日本の社会保障制度には、財源の問題があり、給付と負担のバランスを持続可能なものにする必要があることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 社会保障制度の抱える問題について、持続可能な制度にしていくための手立てを考えている。</p>
-	<p>【明日に向かって】 年金のしくみについて知ろう (教科書 P. 182-183)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公的年金制度について、老齢年金だけでなく障害年金や遺族年金のしくみがあることや、学生納付特例制度があることを理解する。 ○ 自分から社会保障制度に関する正確な情報を集めようとすることの重要性について、自らの課題として考え、表現する。 	<p>知識・技能 公的年金制度について、障害年金や遺族年金のしくみや学生納付特例制度があることなどを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 自分から社会保障制度に関する正確な情報を集めようとすることの重要性について、自らの課題として考え、表現している。</p>

80	【チャレンジ公民】 社会保障のあり方について考えよう（教科書P. 184-185）	○これまで学習した知識や考え方をを用いて、政策の理念や具体的な影響の資料を探しだし、活用する。 ○「年金のしくみについて知ろう」で学んだ内容をもとに、根拠に基づき意見やアイデアを出し合う。	知識・技能★ 自分の意見を裏付ける資料を探しだし、活用している。 思考・判断・表現★ 学習してきた社会的な見方や考え方をを用いて、持続可能な社会保障について考察している。
81	【まとめとふり返り】 章のまとめをしよう（教科書P. 186-187）	○第3編第2章の問いについて分業と交換、希少性などの見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見出す。	思考・判断・表現 第3編第2章の問いについて分業と交換、希少性などの見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている。

第4編 私たちと国際社会

学習指導要領の内容：D

第1章 現代の国際社会と課題

学習指導要領の内容：D（1）

第4編第1章の目標	
	<p>○領土と国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。</p> <p>○文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第4編第1章の問い】 平和で持続可能な国際社会の実現のために、日本はどのような役割を果たすべきでしょうか。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第4編第1章の評価規準</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
82	【学習のはじめに】 チョコレート王国（教科書 P. 188-189）	○漫画の中に登場する国際社会における権利や課題について、知っていることと知らないことを整理し、解決が必要な課題をまとめる。 ○単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代の国際社会と課題の学習について見通しをもって取り組もうとする。	思考・判断・表現 漫画の中に登場する国際社会における権利や課題について、疑問点を整理し、解決が必要な課題をまとめている。 主体的に学習に取り組む態度 単元を貫く問いを設定する活動を通して、現代の国際社会と課題の学習について見通しをもって取り組もうとしている。

第1節 国家と国際社会

学習指導要領の内容：D（1）

第1節の目標	
<p>○領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を理解する。</p> <p>○文化と宗教の多様性などを基に、国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○国家と国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【第1節の問い】 国際社会において、国家が互いに尊重し、協力し合うために大切なものは何でしょうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能 ・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性などを基に、国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・国家と国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
83	1 国際社会と持続可能性（教科書 P. 190-191） ・1枚のシャツから ・持続可能性とは ・持続可能な社会を実現するために	○持続可能な社会の実現のためには、国際協力が必要であることを理解する。 ○持続可能性を考える視点として、環境・経済・社会の観点が必要だと気づき、国際社会が抱える多様な課題の問題点を考察し、表現する。	知識・技能★ 持続可能な社会の実現のためには、国際協力が必要であることを理解している。 思考・判断・表現 持続可能性を考える視点として、環境・経済・社会の観点が必要だと気づき、国際社会が抱える多様な課題の問題点を考察し、表現している。
84	2 国家と国際関係（教科書 P. 192-193） ・国家と国家主権 ・国際関係のなりたち	○国家が主権、国民、領域で成り立ち、領域が領土・領空・領海で構成され、主権が尊重されるために、国	知識・技能★ 国家が主権、国民、領域で成り立ち、領域が領土・領空・領海で構成され、主権が尊重されるために、国際法が

	・国際協調	<p>際法があることを理解する。</p> <p>○国際社会の平和を保ち、共通の諸課題を解決するためには、国際協調が必要であることを考察し、表現する。</p>	<p>あることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>国際社会の平和を保ち、共通の諸課題を解決するためには、国際協調が必要であることを考察し、表現している。</p>
85	<p>3 日本の領土をめぐる問題（教科書 P. 194-195）</p> <p>・日本の広い排他的経済水域</p> <p>・日本の領土をめぐる問題</p> <p>・日本の領土をめぐる情勢</p>	<p>○日本が抱えている領土をめぐる問題について理解する。</p> <p>○日本が抱えている領土をめぐる問題の経緯を理解し、問題の解決に向けて必要なことについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>日本が抱えている領土をめぐる問題について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>日本が抱えている領土をめぐる問題の経緯を理解し、問題の解決に向けて必要なことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
-	<p>【公民 + a】</p> <p>日本の領土をめぐる問題の解決に向けて (教科書 P. 196-197)</p>	<p>○日本の領土をめぐる問題について、それぞれの歴史的経緯について理解する。</p> <p>○他国でも領土・領域に関わる問題があり、なかには武力衝突が発生したもののや、交渉や裁判で解決に至ったものがあることを理解する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>日本の領土をめぐる問題について、それぞれの歴史的経緯について理解することができる。また、日本だけでなく多くの国で領土・領域に関わる問題があり、そのなかには武力衝突が発生しているものや、交渉や裁判で解決に至ったものがあることを理解している。</p>
86	<p>4 国際連合の目的とはたらき（教科書 P. 198-199）</p> <p>・国際連合の成立</p> <p>・国連の目的とはたらき</p>	<p>○国際連合が設立された背景や活動の目的についてまとめ、国際社会において国際連合が果たしている役割を理解する。</p> <p>○国連総会と安全保障理事会それぞれの機関が果たす役割と問題点について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>国際連合が設立された背景や活動の目的についてまとめ、国際社会において国際連合が果たしている役割を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>国連総会と安全保障理事会それぞれの機関が果たす役割と問題点について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
87	<p>5 グローバル化のなかでの地域統合（教科書 P. 200-201）</p> <p>・地域統合と地域協力のうごき</p> <p>・EUの統合</p>	<p>○世界の主な地域統合（USMCA、APEC、MERCOSUR、ASEAN、EU、AU）を事例に、経済を中心とした地域統合の意義を理解する。</p> <p>○国際社会における地域統合のあり方について、利点と問題点を整理し、比較することを通して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>世界の主な地域統合を事例に、国際社会における経済を中心とした地域統合の意義を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>国際社会における地域統合のあり方について、利点と問題点を整理し、比較することを通して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>

88	<p>6 世界のさまざまな文化や宗教（教科書P. 202-203）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・宗教と政治を考えるために ・現代世界への文化・宗教の影響 ・文化と宗教の多様性への寛容 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の様々な文化や宗教が政治と深く関係し、人々の生活に大きな影響を与えていることについて理解する。 ○様々な宗教や文化がある国際社会において、異なる価値観や多様性を尊重し合うことの意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>知識・技能 世界の様々な文化や宗教が政治と深く関係し、人々の生活に大きな影響を与えていることについて理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 様々な宗教や文化がある国際社会において、異なる価値観や多様性を尊重し合うことの意義を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
----	---	--	---

第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み

学習指導要領の内容：D（1）

第2節の目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ○世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ○日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 <p>【第2節の問い】 国際社会の課題の解決のために、私たちはどのような取り組みができるでしょうか。</p>
<p>第2節の評価規準</p>	<p>知識・技能 ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
89	<p>1 現代の戦争と平和（教科書P. 204-205）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の紛争 ・東アジアの変化と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○冷戦終結後の世界における諸問題を通して、現代の紛争の特徴を理解する。 ○東アジアの安定のための日本の取り組みについて、対立と協調に着目しつつ、東アジア諸国の情勢もふまえて考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 冷戦終結後の世界における諸問題を通して、現代の紛争の特徴を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 東アジアの安定のための日本の取り組みについて、対立と協調に着目しつつ、東アジア諸国の情勢もふまえて考察し、表現している。</p>

90	<p>2 世界の軍縮と日本の役割 (教科書 P. 206-207)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍縮への動きと課題 ・軍縮に対する日本の責任 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際社会が核軍縮に取り組んできた過程と、これからの対応について理解する。 ○核軍縮と世界平和の実現のために日本ができる役割について、対立と合意、協調に着目して考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 国際社会が核軍縮に取り組んできた過程と、これからの対応について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 核軍縮と世界平和の実現のために日本ができる役割について、対立と合意、協調に着目して考察し、表現している。</p>
91	<p>3 日本の平和主義と国際貢献 (教科書 P. 208-209)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和主義 - 日本の安全保障と国際貢献 ・世界の紛争と日本の役割の拡大 ・人間の安全保障 	<ul style="list-style-type: none"> ○平和主義の立場に基づいて日本が行う国際貢献の方法について整理する。 ○人間の安全保障を確立するために日本が果たすべき責任について、自分の考えを表現する。 	<p>知識・技能 平和主義の立場に基づいて日本が行う国際貢献の方法についてまとめている。</p> <p>思考・判断・表現★ 人間の安全保障を確立するために日本が果たすべき責任について、自分の考えを表現しながら吟味している。</p>
92	<p>4 発展途上国の現状と多様化する世界 (教科書 P. 210-211)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界人口の増大 ・南北問題 ・南南問題と南南協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の人口の増大とそれに伴う国際的な問題の増加について理解する。 ○世界各国の経済格差をなくすための方策を、公正や国際協調の立場で考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 世界の人口の増大とそれに伴う国際的な問題の増加について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 世界各国の経済格差をなくすための方策を、公正や国際協調の立場で考察し、表現している。</p>
93	<p>5 限りある資源とエネルギー (教科書 P. 212-213)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける世界の資源・エネルギー消費 ・新しいエネルギーの開発に向けて ・日本のエネルギー問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球規模でエネルギー消費量が拡大するなか、効率的に利用するためにそれぞれの資源・エネルギーの長所・短所を理解する。 ○日本のエネルギー構成について持続可能性という観点から、原子力発電の再稼働について考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 化石燃料、原子力、再生可能エネルギーを用いた発電方式の特徴を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 日本のエネルギー構成について、各発電方式の特徴を比較し、持続可能性という観点から原子力発電の再稼働について考察し、表現している。</p>
94	<p>6 地球規模の環境問題と国際協力 (教科書 P. 214-215)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな環境問題 ・地球温暖化とその影響 ・気候変動と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済発展に伴い、温暖化による気候変動といった地球規模の環境問題が起こっている現状を理解する。 ○気候変動をめぐり、国際協力の必要性を理解し、パリ協定の実効性を高める方策を考察し、表現する。 	<p>知識・技能★ 温室効果ガスの排出により気候変動が引き起こされ、様々な地球規模の環境問題が生じていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 パリ協定の意義と課題をふまえ、実効性を高めるにはどうすればよいか効率や公正、持続可能性といった観点から考察し、表現している。</p>
-	<p>【明日に向かって】SDGs から未来の社会を考えよう (教科書 P. 216-217)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標と実現に向けた取組を進めている現状と課題を理解する。 	<p>知識・技能 持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標と実現に向けた取組を進めている現状と課題を理解している。</p>

		○身近な社会課題は、世界が直面している課題につながっていることを理解し、解決に向けた持続可能な方策を考察する。	思考・判断・表現 世界が直面している課題を「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に照らし、持続可能性を視点に整理し、その解決策を考察している。
95	【チャレンジ公民】 地球温暖化に対する政策について考えよう (教科書 P. 218-219)	○気候変動に対する国際協調にむけて、民主主義の政策推進の方法として政党の支持があり、その選択の視点を理解する。 ○政策には多くの要因が複雑に絡んでいることを理解し、見方・考え方を働かせて最適解を得られるように考察し、自分の考えを表明する。	知識・技能 地球温暖化問題の解決に向けた政策の内容を理解し、資料を理解している。 思考・判断・表現★ 政策について、持続可能な開発目標を視点に判断基準を定め、比較検討しながら考察し、自分の考えを表明している。
96	【まとめと振り返り】 章のまとめをしよう（教科書 P. 220-221）	○第4編第1章の問いについて対立と合意、効率と公正や持続可能性、国際協調などの見方・考え方を働かせながら考察し、表現する。 ○単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や社会生活に生かすことを見出す。	思考・判断・表現 第4編第1章の問いについて対立と合意、効率と公正や持続可能性、国際協調などの見方・考え方を働かせながら考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習を振り返り、次の学習や社会生活に生かそうとしている。

第4編第2章 私たちの課題 —持続可能な社会をめざして—

学習指導要領の内容：D（2）

第4編第2章の目標	
	<p>○持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解するとともに、諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明・論述したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちの課題について、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
第4編第2章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
97	1 テーマの設定 - これからの社会をどんな社会にしたい? - (教科書 P. 222-224) ・大きなテーマから決める ・テーマを具体的にしてい	○持続可能な社会の形成という観点の意味と、その基礎となる公正で平和な社会という価値の意味を理解する。 ○より良い社会を築いていくための課題研究を通して社会参画をしていこうとする。	知識・技能★ 持続可能な社会という考えを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 第4編第2章での学習活動の見通しをもち、次々以降での資料収集や考察の場面を考慮し、自らの学習を調整しようとし、粘り強く学習に取り組もうとしている。
98	2 資料の収集と読み取り (教科書 P. 225) ・資料の収集 ・資料の読み取り	○課題研究のために必要な資料を適切に収集する。 ○情報の集め方に関する知識や、情報の読み取り方、特に、情報源である様々なメディアの特色に関する知識を活用しながら適切に情報を集め、読み取る。	知識・技能★ 資料の表題、出展、年代、作成者などを確認し、その信頼性をふまえてつつ情報を集めている。異なる資料を見比べたり、結びつけたりして読み取っている。 主体的に学習に取り組む態度 今後の学習活動に見通しをもち、学習の進め方を試行錯誤しようとしている。
99	3 考察と構想 (教科書 P. 226-227) ・考察をすすめる ・意見の交換 ・考察したことをもとに、政策を構想する	○資料から導き出した結論について意見交換を通して自分の結論を見直し、よりよい社会を築くための提案を考察、構想し、表現する。 ○他の生徒と意見交換を行い自分の意見を見直し修正するために、話し合いの進め方に関する知識や技能を活用する。	思考・判断・表現 資料から導き出した結論を、他者の意見をふまえて見直し、より適切な結論を導き出すために適切に考察、構想し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 考察の過程のなかで必要な資料に思い当たり、自らの学習を調整しようとしている。また、粘り強く学習に取り組もうとしている。
100	4 まとめと評価 (教科書 P. 228-230) ・レポートを書く ・発表 (プレゼンテーション) をする ・評価をする ・社会へのかかわり方を考える	○適切な項目を設けて、科学的な探究の過程や思考の過程がわかるようにレポートをまとめる。 ○適切に聴き手に自分の考えを伝えるとき、他の生徒の発表も真剣に聞いて理解をするだけでなく、その内容を評価し、意見を言う。	思考・判断・表現★ 探究した課題に対する実現可能な解決策を、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を取り入れてレポートにまとめ、説明している。 主体的に学習に取り組む態度 レポートの内容がよりわかりやすいものになるよう、自らの学習を調整しようとしている。また、粘り強く学習に取り組もうとしている。

MEMO

Dotted lines for writing a memo.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.